

# 平成22年度施策評価表

(平成21年度の振り返り、総括)

作成日 平成 22 年 4 月 16 日

施策No.	27	施策名	生涯スポーツ社会の推進
主管課名	生涯学習・スポーツ課	主管課長名	紙尾 昌志
関係課名	商工観光課		

施策の目的 【対象】	市民	対象指標名	単位	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	目標年度 (年度)
		市の人口	人	46,459	46,036	45,562	45,562	45,562	

施策の目的 【意図】	①誰もが気軽にスポーツに親しんでいる。 ②スポーツ活動に活発に取り組んでいる。	成果指標名	単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	23年度目標	目標値
		①-1.週1回以上スポーツをする市民の割合	%	-	23.7	24.8	50.0	50.0	
①-2.地域スポーツクラブ数、会員数	団体	4	4	4	7	7			
	人	3,582	3,379	3,404	4,800	5,000			
①-3.スポーツ少年団加入率	%	37.6	38.1	40.4	50.0	50.0			
②スポーツ大会への参加者数	人	16,145	15,258	13,402	15,000	15,000			

成果指標設定の考え方	<p>①-1.市民が年齢、体力に応じて気軽にスポーツを楽しんでいる状況について、1週間当たりのスポーツ実施率で捉えることができるので、これを成果指標とした。</p> <p>①-2.地域スポーツクラブ数、会員数の増減を見ることで、どれだけの人が多様なスポーツを楽しんでいるかがわかるので、これを成果指標とした。</p> <p>①-3.スポーツ少年団加入率を見ることで、子どもがどれだけスポーツに親しんでいるかがわかるので、これを成果指標とした。</p> <p>②スポーツ大会などへの市民の参加者数をみることで、どれくらいの人々がスポーツ活動に活発に取り組んでいるかがわかるので、これを成果指標とした。</p>
------------	---

成果指標の把握方法(算定式等)	<p>①-1.生涯学習・スポーツ課の市民アンケート調査により把握 (スポーツに関する市民アンケートを5年毎に実施)。 「魚津市の生涯スポーツ年報」による。まちづくり市民意識調査により把握。</p> <p>①-2~3.生涯学習・スポーツ課の資料(魚津市の生涯スポーツ年報)により把握。</p> <p>②生涯学習・スポーツ課の資料(魚津市の生涯スポーツ年報)により把握。</p>
-----------------	---

施策の成果向上に向けての役割分担	市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツクラブを自主的に運営していただく。</li> <li>・地区で各種スポーツ事業に自主的に取り組んでいただく。</li> </ul>
	市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設整備を行う。</li> <li>・人的支援を行う。</li> <li>・スポーツクラブ育成支援を行う。</li> <li>・スポーツ事業の支援、実施を行う。</li> </ul>
	その他	

施策No.	27	施策名	生涯スポーツ社会の推進
平成21年度 の評価結果	1. 施策の成果水準とその背景(近隣他市や以前との比較、特徴、その要因と考えられること。)		
	ア. 成果水準の推移(成果水準がここ数年どのように推移しているかを中心に記述。)		
	①-1.週1回以上スポーツをする市民の割合は、市民意識調査の結果平成20年度の23.0%から24.8%と1.8%の増となっている。		
	①-2.地域スポーツクラブ数及び会員数については、昨年並みの推移を維持している。		
	①-3.ポーツ少年団は、児童数が減少傾向であるが、平成21年度は新たに1団加入し、平成20年度の38.1%から40.4%と2.3%の増となっている。		
	②スポーツ大会の参加者は、新型インフルエンザの影響もあり、平成20年度15,258人から13,402人と1,856人の大幅な減となっている。		
	イ. 近隣他市との比較(成果水準が近隣他市と比較してどうであるかを中心に記述。)		
	①拠点型スポーツクラブの魚津スポラ、地域スポーツクラブの大町、天神、スマイル本江の4団体で、県内においてもスポーツクラブの組織率が高い。		
	ウ. 住民期待水準との比較(成果水準が住民が期待していると思われる水準と比較してどうであるかを中心に記述。)		
	①魚津市は、県内においてもスポーツ施設が充実している方であり、「生涯スポーツプラン」のアンケート調査においても7割の方が充実していると答えている。また、学校体育施設の夜間開放で体育館やグラウンドも多いに利用されており、市民の生涯スポーツの普及に役立っている。		
2. 施策の成果実績に結びついているこれまでの主な取り組み(事務事業)の総括 (ここ数年の間、施策の成果向上に貢献してきた主な事務事業の取組み内容を中心に記述。)			
①【体育指導委員事業】 体育指導委員協議会が、ニュースポーツの普及に指導・講習会等開催し、小学生を含めたニュースポーツの大会が開催され、多数の児童が参加している。また、ニュースポーツ関連協会においても、児童対象にした講習会や大会を開催している。			
②【総合型地域スポーツクラブ育成モデル事業】市内に4クラブあるが、特に魚津スポラについては、市内の子供から高齢者までを対象にした、多種目・多世代型健康スポーツ教室、トップアスリート育成コース、ちびっ子スポーツ道場等を開催し、広くスポーツの普及に努めている。			
3. 施策の課題認識及び平成22年度の取り組み状況(予定) (平成21年度末で残った課題、既に平成22年度に取り組んでいること、又は取り組みの予定について記述。)			
①総合型地域スポーツクラブの活動情報を提供する等市民への周知に努めると共に、会員数の増加や財源の確保が図られ、継続的、安定的な運営が行われる体制づくりのための支援、指導に努める。			
②スポーツ施設は充実しているものの、建設からかなりの年数を経過した施設が多く、計画的な修理維持管理や改修の方向性等を検討し、住民が利用しやすい施設整備に努める。			

施策の トータル コスト	区分	単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	23年度計画	24年度計画
	A. 本施策を構成する事務事業の数	本数	19	19	18			
B. 事業費 (事務事業の事業費合計)	千円	228,540	229,677	247,360				
C. 事務事業に要する年間総時間	時間	4,040	4,804	4,100				
D. 人件費 (C×1時間あたりの平均人件費)	千円	16,604	20,201	17,241				
E. トータルコスト (B+D)	千円	245,144	249,878	264,601	0	0	0	
効率性 指標	対象(受益者)1単位あたり、若しくは市民1人あたりの施策の	円	4,891	4,989	5,429			
	F. 事業費 (定義式 : B/人口)							
	同上 G. 人件費 (定義式 : D/人口)		355	439	378			
	同上 H. トータルコスト (定義式 : E/人口)		5,247	5,428	5,807			